

## 普及現地情報

発信年月日：平成31年(2019年)4月22日  
所属名：湖北農産普及課  
番号：G19002  
部門分類：170(花き)  
340(病害虫・雑草・鳥獣害)  
発信者名：松嶋、兼房、北村、國島

### リンドウほ場に「楽落くん」を設置

当課および農業技術振興センター農業革新支援部では、平成30年度から新品种・新技術の確立支援事業に係るリンドウの獣害防止対策技術に取り組んでいます。その一環として、4月18日に米原市大久保のリンドウほ場に簡易防護柵「楽落くん」の改良型を設置しました。

リンドウは栽培適地が冷涼な中山間地域であるため、野生獣対策が課題となっています。米原市大久保では、平成26年からリンドウの栽培が行われていますが、ほ場周辺にイノシシやニホンジカが生息しており、野生獣のリンドウほ場への侵入による踏み荒らしが発生しており、被害拡大が懸念されています。

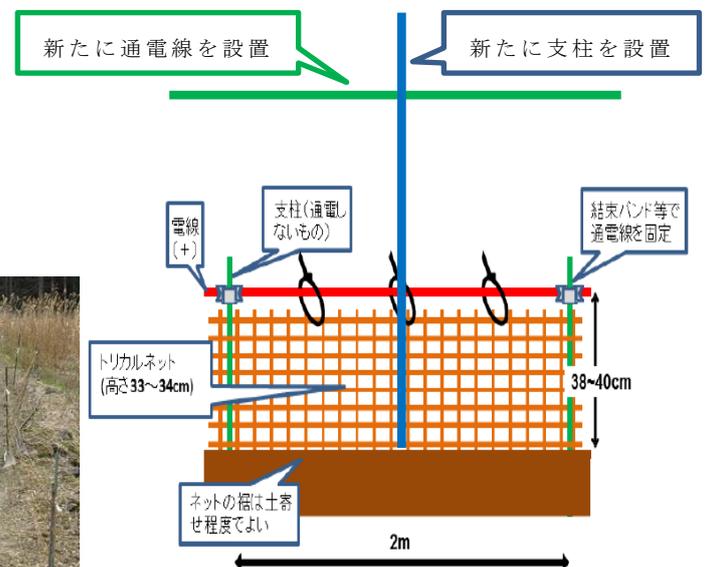
「楽落くん」は、おもにアライグマ、ハクビシンおよびタヌキなどの中型獣から農作物を守る簡易防護柵として埼玉県農業技術研究センターで開発され、構造は高さ約40cmのトリカルネットと通電線を組み合わせたものです。

昨年、4aのほ場に「楽落くん」を設置したところ、設置期間中の野生獣による侵入が減少しました。今回はさらに大型獣の侵入を防ぐことを目的に、同じほ場に改良型を設置しました。改良型とは、地上40cmに設置する通電線を地上1mにも設置したものです。

今後、野生獣に対する防護効果のモニタリングと判断を行い、必要に応じて改良していく予定です。



6名の1.5時間で設置



「楽落くん」の改良型